

第5章 計画の推進と進行管理

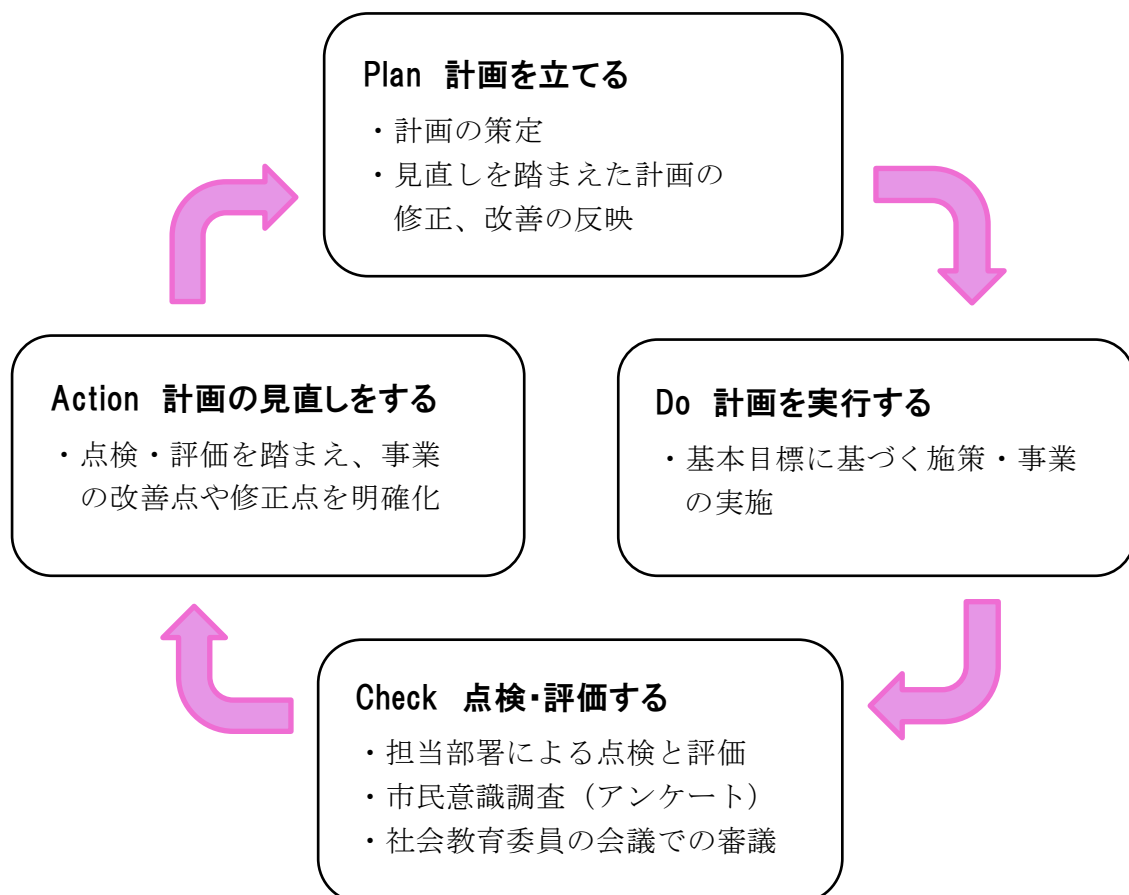
1 計画の推進

計画の推進の仕組み

本計画を推進するにあたっては、第4章に掲げた5つの行政の取り組み目標に沿って施策を進め、事業を実施しますが、より実効性のある計画推進のためには、計画期間中の区切りごとに振り返り、客観的な評価・検証を行い、その結果をその後の施策・事業に生かしていく必要があります。

この計画では、毎年度、担当部署による主体的な点検・評価を行い、また、中間時期、計画期間終了前という大きな区切りにおいては、計画の進捗度の分析・評価や広く市民意識調査を行います。それらの結果は、社会教育委員^{*}の会議で審議し、その担当部署自らの反省や市民の声、社会教育委員の会議で出された意見を、それぞれの区切りのその後の施策・事業の実施や計画策定に反映していきます。(PDCAサイクル^{下図})

※ 社会教育委員は、社会教育法にその設置や職務が規定され、社会教育に関し教育委員会に助言などを行います。桑名市では、社会教育の主要な事業の進捗状況や生涯学習推進計画の評価に対しご意見をいただいています。



2 計画の進行管理

計画の進行管理の方法

本計画の進行管理は、次のように行います。

① 毎年度の振り返り

各施策・事業の取組み状況について、毎年度、担当部署による自己評価を行います。

各部署は、取組み内容、成果、次年度への課題や具体的な改善点（方向性）を確認・点検します。

社会教育委員の会議では、その評価結果に対する客観的な意見や評価を示していただき、それらを担当部署へフィードバックすることにより、次年度以降の施策・事業の充実・改善を図ります。

② 中間時期の振り返り

市民による生涯学習への参加度などに対し中間評価を行います。

評価は、毎年度の生涯学習に関する評価指標の推移や、市が行う桑名市民満足度調査^{*}の調査結果などをもとに分析し、その評価結果により、必要な場合は計画の見直しを行ってその後の施策・事業の推進を図ります。

※ 桑名市民満足度調査は、市民の意識や生活スタイルなどを把握し、市の総合計画の各施策の進行を確認するため定期的に実施しています。（平成27年度は「桑名市まちづくりアンケート調査」で実施。）

③ 計画期間終了前の振り返り

計画全般の達成度を検証・評価するため、計画期間が終了する前の平成35年度に、市民意識調査を実施します。特に、市民目標として計画が目指す8年後の市民の姿の検証は、市民目標に向けた行政の取組み目標である1～4それぞれについて定める次の指標を用いて評価します。

取組み目標	指標	指標の説明	基準指標 (H27年度)	達成目標 (H35年度)
1 生涯学習にふれる	「生涯学習」の認知割合	「生涯学習」という言葉を聞いたことがあり内容も理解している割合	30.1%	80%
2 活動に参加する	「生涯学習」への参加割合	この1年間に生涯学習を行った割合(学習をしていない人以外の割合)	62.2%	75%
3 知識を深め、生かす	「生涯学習」の成果を生かす割合	生涯学習で身につけた知識・技能や経験を、生かしている割合(生かしていない人以外の割合)	59.7%	70%
4 活動の成果を広げる	「生涯学習」の成果を生かす割合	生涯学習の成果を自分以外のため(地域や社会での活動)に生かしている人の割合	8.4%	20%